

## 「しんのすけくん」がネーミング大賞ビジネス部門1位を受賞

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長兼 COO：松井徹）は、心肺蘇生法（心臓マッサージ）の訓練をサポートする胸骨圧迫 訓練評価システム「しんのすけくん」が日刊工業新聞社主催の「第27回読者が選ぶネーミング大賞」でビジネス部門1位を受賞しましたので、お知らせいたします。



日刊工業新聞社の井水社長より、表彰の盾を受け取る会長 西村（右）



しんのすけくんを使って心臓マッサージの訓練を体験する井水社長（中央）

「しんのすけくん」は、当社開発の圧力検知センサー「スマートラバー（SR）センサ」を応用し、心臓マッサージの訓練において重要な要素である圧迫位置、圧迫の深さ、リズムなどを検知、リアルタイムで表示される画面を見ながら、訓練を受けられる製品です。要素ごとに得点化し、客観的に評価することにより、訓練の質の向上を図るもので、ネーミングにあたっては「『心』臓マッサージで人々を『助』けたい」との思いを込めて名付けました。

同賞は毎年、読者の投票で優れたネーミングを選ぶ顕彰制度。日刊工業新聞に掲載された新製品や新サービスの中からノミネートされ、ビジネス・生活の両部門から、長く広く愛されるネーミングを選定し、表彰するものです。今回、計約1万3,000票の投票がありました。

3月9日（木）に東京都内で行われた表彰式では、日刊工業新聞社の井水治博取締役社長より、あいさつが述べられた後、受賞企業の代表が賞状と盾を受け取りました。丸の内ブランドフォーラムの片平秀貴代表からは祝辞の中で「『胸骨圧迫』と聞くと“おっかない”（印象の）商品が、ひらがなで、明るく、読みやすくなっている。得票を集めたのは皆さんの熱い思いが名前から湧き出て伝わっているからだ」と当社製品に言及いただきました。

祝賀会では当社代表取締役 取締役会長兼 CEO 西村義明が「今後もしっかりとネーミングを考え、毎年この場に呼んでいただけるよう努力してまいります」とあいさつ。当社は今後も、お客様の「安全・安心・快適」に貢献する製品の提供に努めてまいります。

以上